

2017年8月9日（水）

震災を忘れない、復興を願って・・・

「力まん」の売り上げの一部を寄付

販売期間 2017年8月10日（木）～9月15日（金）

このたび株式会社中村屋（代表取締役社長 鈴木達也、東証第一部：2204）は、8月10日から期間限定で販売する「力まん」の売り上げの一部を寄付いたします。

中村屋では、“食”を切り口とした社会貢献活動を行っております。1923（大正12）年の関東大震災においてまんじゅうを原価で提供し、以後震災の教訓を忘れないために「地震饅頭」として販売をしてきました。

現在は、「力まん」と名前を変え、震災のあった9月1日の前後約1カ月間、販売しています。この“震災を忘れない”という思いを広げるため、また“復興を願う”思いを込めて「力まん」の売り上げの一部を寄付いたします。



力まん



「大震災記念」の立て看板とお客様で賑わう中村屋（大正末頃）

【寄付の概要】

内 容：力まんの売り上げの一部を寄付

対象商品：力まん

対象商品の販売期間：2017年8月10日（木）～9月15日（金）

寄付金贈呈先：「東日本大震災義援金」、「平成28年熊本地震義援金」へ寄付

【力まんの歴史】

1923（大正12）年、中村屋の創業者相馬愛蔵・黒光夫妻は、関東大震災で苦しむ被災者を助けるために、手持ちの原材料で饅頭をつくり、原価で提供しました。

比較的被害が少なかった新宿に多くの避難民が流れ、中村屋の店頭もパンや菓子を求めて人々が押し寄せていました。その様子を見た創業者の相馬愛蔵は「商人の義務としても手を束ねていられるときではない」（『一商人として』より）と思い、余震が続く中、従業員全員で通常の商品の製造販売を中止し、「地震パン」「地震饅頭」「奉仕食パン」を作り、原価で販売しました。

以後毎年、災害の教訓を忘れないため震災記念日に「地震饅頭」として販売を続けました。現在では、名前を「力まん」と変え、震災のあった9月1日の前後約1カ月間、販売しています。

【力まん 商品概要】



中村屋は「力まん」の売り上げの一部を、「東日本大震災」および「平成28年熊本地震」で被災された皆さまへ、日本赤十字社を通じて寄付いたします。

ちから
力まん

大正十二年、中村屋の創業者相馬愛蔵・黒光夫妻は、関東大震災で苦しむ被災者を助けるために、手持ちの原材料で饅頭をつくり、原価で提供しました。
以後毎年、災害の教訓を忘れないため震災記念日に「地震饅頭」として販売を続けました。
戦争のため一時販売を中止しますが、戦後になって日本の復興を願って復活。
名前で「力まん」と変え、販売を再開しました。

新宿 中村屋

商品にお付けする力まんのチラシ

商品名	力まん
特徴	黒糖蜜を使った生地でこしあんを包んだ蒸しまんじゅうです
販売期間	平成29年8月10日（木）～9月15日（金）
価格（税抜き）	90円
賞味期間	3日
販路	全国の中村屋の直売店（駅ビル・百貨店など）

■会社概要

商号 : 株式会社 中村屋（東証第一部 証券コード：2204）
代表者 : 代表取締役社長 鈴木 達也
所在地 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目26番13号
創業 : 1901（明治34）年12月30日
設立 : 1923（大正12）年4月1日
事業内容 : 各種和洋菓子、パン、食品の製造・販売、レストランの経営
資本金 : 74億6,940万円（平成29年3月31日現在）
URL : <http://www.nakamuraya.co.jp/>